

蒲生干潟の地形調査③③

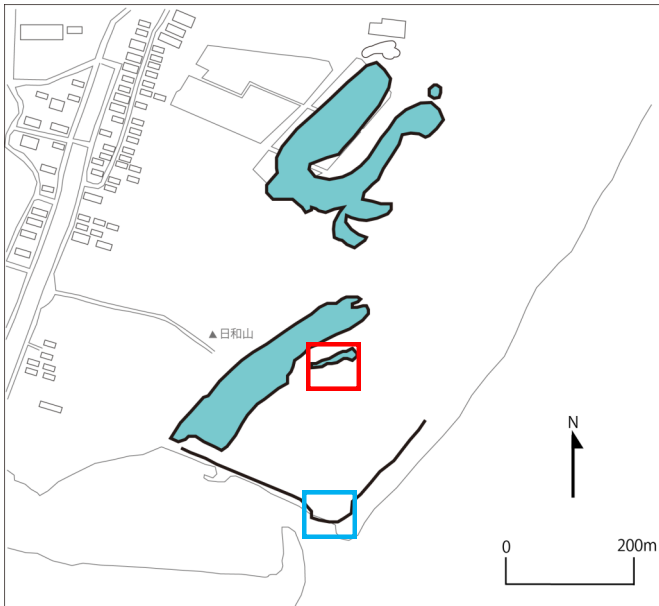


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.3 新たに建設中の通水部分全景（北側より撮影）



Fig.4 新たに建設中の通水部分詳細（北側より撮影）



Fig.2 大きく分断している潟湖（南側より撮影）



Fig.5 2つの通水部分の間のようなす（西側より撮影）

調査日 2018年5月10日（木）10：30～12：30 ※満潮時刻10：59（潮位81cm）

Fig.1はGPS簡易測量による5月の汀線である。4月の調査に引き続き潟湖中央は大きく分断していた（Fig.2）。また潟湖の面積は4月の調査結果とくらべ若干拡大しており、北側の潟湖は元通り一つにつながっていた。3月の調査では確認されたが4月の調査は消滅していた□で囲まれた部分は水がたまって湖を形成していた。

導流堤付近の工事は進行しておりNo.164で報告した川側・潟湖側にそれぞれつくられた2箇所の通水部分の東側に、新たな通水部分を建設していた（Fig.3 4）。また川側・潟湖側の通水部分の間は先月より水が多くとまっており川と潟湖の通水が容易な状況であった（Fig.5）。

右岸の砂州は西側部分が川の流れにより侵食され縮小している一方、河口付近では北側に拡大していた。また、左岸側でも□の部分の砂州が拡大していたため、河口が狭くなっていた。

（中田 晋）